

補助金チェックシート(新規)

作成年度:令和4年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市地域空き家活用補助金		補助金番号	G4-12	
所管部署	都市整備部 住宅まちづくり課				
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市地域空き家活用補助金交付要綱				
制定状況	○	制定済 ⇒	令和4年10月24日施行		
		未制定 ⇒			
交付の目的	空き家の活用を促進し、もって市内の空き家問題の解消及び地域社会の活性化に資することとする。				
補助対象経費	地域の同意を得た事業を展開する市民団体等の活動拠点とするための空き家の改修費用				
補助率・補助額	その他				
交付先	補助対象住宅を所有する個人、またはその個人の同意を得て活用する市民団体及び非営利活動法人				
開始年月日	令和4年10月24日		サンセット期日	令和6年度末	
補助金性質分類	制度的補助		団体運営補助		事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称			

2. 予算要求額

(千円)

	9月補正	年度当初予算
要求(予定)額	1,500	
特定財源	国庫支出金	750
	府支出金	0
	その他	0
一般財源	750	0

(件)

交付見込み件数	1
---------	---

3. 「補助金の見直しに関する方針」との整合性

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は補助制度として承認されません)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	空き家の活用を促進し、地域の空き家問題の解消等に貢献するものである。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	市内の空き家問題の解消及び地域活性化にとって必要不可欠なものである。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	少子高齢化による人口の減少や核家族化などの進行により空き家が増加し、安全面の不安・公衆衛生の悪化・景観への悪影響などが問題となっている。地域が積極的に空き家を地域資源として利用し、課題の解消に取り組むニーズが見込まれる。 また、各種相談により市民のニーズが推定されており、他市でも同様の補助制度が存在する。

有効性	期待する効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	補助金の活用によって市域活動の活性化の長期的な効果を上げる見込みがある。空き家の活用件数と地域問題の解決件数で効果測定が確保されている。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	補助金の利用により、地域のニーズに合った課題解決が見込まれ、適正で効果的な手法である。
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	不特定の個人または市民団体及び非営利活動法人を対象としている。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	全額補助となっていない。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	補助金交付要綱の整備を行っている。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	補助金交付に合わせて補助金交付要綱を施行し、ホームページ等で公表する予定である。

②補助金性質分類別の視点

[事業費補助]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓	地域の空き家を活用し、地域課題を解消する活動に限定した補助金である。
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓	交付団体は市民団体又は非営利活動法人としており、空き家の改修には相当の金額がかかることから、交付が必要であると客観的に認められる。